

(様式2)

計画作成年度	平成26年度
計画主体	静岡県 長泉町

長泉町鳥獣被害防止計画

<連絡先>

担当部署名 長泉町 産業振興課 農業支援チーム
所在地 静岡県駿東郡長泉町中土狩828
電話番号 055-989-5516
FAX番号 055-989-5564
メールアドレス sangyo@nagaizumi.org

1. 対象鳥獣の種類、被害防止計画の期間及び対象地域

対象鳥獣	イノシシ、ニホンジカ、サル、ハクビシン、カラス、ドバト、ヒヨドリ
計画期間	平成27年度～平成29年度
対象地域	静岡県駿東郡長泉町

2. 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に関する基本的な方針

(1) 被害の現状 (平成25年度)

鳥獣の種類	被害の現状		
	品 目	被害数値	
		被害面積 (a)	被害金額 (千円)
イノシシ	—	—	—
ニホンジカ	稲	50	20
	豆類	50	40
	野菜	—	—
	いも類 (甘薯、馬鈴薯)	50	40
	果樹 (柿)	—	—
	小 計	150	100
サル	豆類	50	30
	野菜 (白ねぎ、かぼちゃ等)	50	50
	いも類	—	—
	果樹 (柿)	—	—
	その他	20	10
小 計	120	90	
ハクビシン	果樹	30	10
カラス、ドバト	—	—	—
ヒヨドリ	—	—	—
合 計		300	200

(2) 被害の傾向

<p>①イノシシ 平成26年度には農家からの被害報告は少なかったが、住民からの通報や目撃情報、猟友会からの聞き取り情報等に基づく現地調査では、実際に被害が確認されている。被害地域は東野地域を中心に広がっており、作物への被害以外に、庭を荒らしたり、掘り起こしたりするなどの被害を受けている。</p> <p>②ニホンジカ ニホンジカによる被害は年間を通して発生している。被害地域は元長窪、上長窪地域に多く見受けられる。稲・野菜・いも類の苗木や果樹の樹皮の食害など、農作物の被害が発生している。被害を減らすための更なる強化が必</p>
--

要である。

③サル

長泉町元長窪、上長窪地域に生息している。白ねぎ、トウモロコシ、スイカ、カボチャ、エダマメ、柿などの農作物に被害を与えている。また、民家に侵入し食べ物を盗んでいく被害も発生している。群れの人馴れが進んでいるため、追い払わない限り逃げなくなっており、地域住民等への威嚇行為や生活被害が発生している。

④ハクビシン

平成26年度においては市街地での目撃情報が4～5件あった。うち、1件は畑のすいかを食い荒らされる被害にあっている。果樹などの農作物の食害のほか、市街地にある民家の屋根裏や縁の下に侵入するなど、住民生活へも影響を及ぼしている。

⑤カラス

カラスにおいては通報や目撃情報から、果樹や野菜などの農作物の食害のほか、ゴミ捨て場を荒らすなど、住民生活へも影響を及ぼしている。

⑥ドバト

平成26年度には民家からの被害報告はなかったが、会社の屋根裏に数百羽のドバトが生息してところもあり、町は駆除依頼を受けている。被害状況としては糞害である。

⑦ヒヨドリ

近年、農家等からの被害報告はない。

(3) 被害の軽減目標

指標	現状値 (平成25年度)		目標値 (平成29年度)	
	被害面積 (a)	被害金額 (千円)	被害面積 (a)	被害金額 (千円)
イノシシ	—	—	—	—
ニホンジカ	150	100	105	70
サル	120	90	84	63
ハクビシン	30	10	21	7
カラス、ドバト	—	—	—	—
ヒヨドリ	—	—	—	—
合計	300	200	210	140

(4) 従来講じてきた被害防止対策

	従来講じてきた被害防止対策	課題
捕獲等に関する取組	町では、長泉町有害鳥獣捕獲先発隊（長泉町猟友会）に対して捕獲の委託を行い、個体数の減少に努めている。	高齢化による狩猟免許保持者の減少に伴い、猟友会員への負担が増大しているため、担い手の育成が急務となっている。 また、実態に比べ、農家からの鳥獣被害の報告が少なく、正確な被害状況を把握するためには、小

		さな被害でも報告してもらえ体制の整備が必要とされる。
防護柵の設置等に関する取組	平成23年度から、町内農業者が自ら町内の農地に電気柵や防護等を設置する際に購入費の一部を助成する補助制度を創設した。	捕獲による個体数の減少に取り組んできたが、個体数は徐々に増加しているものと予想される。電気柵や防護柵等の整備、普及に努める。 合わせて農地の放任作物の除去や、温床となる耕作放棄地の解消も必要である。

(5) 今後の取組方針

<p>長泉町における平成25年度の対象鳥獣の被害面積は300a、被害金額は200千円である。農家等からの被害報告が少なく、実際の被害数値はこれら数値よりも多いものと予想される。</p> <p>これまで、長泉町では捕獲を中心とした被害防除により鳥獣被害の減少を図ってきたが、被害を防ぐための取り組みとして、農業者等が電気柵、防護柵等を設置する際の自己負担額の軽減を図っていく。</p> <p>また、農地の放任作物の除去や、耕作放棄地の解消に関する啓発を行い、有害鳥獣を寄せ付けない集落環境づくりに向けて体制整備を行う。</p> <p>これら取組により、平成29年度における被害軽減目標値を現状の被害数値（面積、金額）の30%減とし、被害面積を210a、被害金額を140千円に設定する。</p>

3. 対象鳥獣の捕獲等に関する事項

(1) 対象鳥獣の捕獲体制

長泉町猟友会	会 長 : 1名 会 員 : 20名程度 内 容 : 有害鳥獣捕獲業務委託
--------	---

(2) その他捕獲に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
27年度	イノシシ ニホンジカ サル ハクビシン カラス ドバト ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生息状況の把握や捕獲場所の検討のため、被害状況を調査する。 ・ 被害が発生次第、長泉町有害鳥獣捕獲先発隊に依頼し、銃やわなによる捕獲を実施する。 ・ 捕獲の担い手確保・育成のために、狩猟免許試験の情報を広報等で周知する。 ・ 関係機関との連携による効果的な捕獲計画を策定する。

28年度	イノシシ ニホンジカ サル ハクビシン カラス ドバト ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に把握した鳥獣の被害状況から、生息状況を把握する。 被害が発生次第、長泉町有害鳥獣捕獲先発隊に依頼し、銃やわなによる捕獲を実施する。 捕獲の担い手確保・育成のために、狩猟免許試験の情報を広報等で周知する。
29年度	イノシシ ニホンジカ サル ハクビシン カラス ドバト ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> 前年度までの捕獲状況や新たに把握した被害状況を踏まえ、引き続き、鳥獣の生息状況を把握する。 被害が発生次第、長泉町有害鳥獣捕獲先発隊に依頼し、銃やわなによる捕獲を実施する。 捕獲の担い手確保・育成のために、狩猟免許試験の情報を広報等で周知する。

(3) 対象鳥獣の捕獲計画

捕獲計画数等の設定の考え方					
対象鳥獣の過去の捕獲実績（長泉町有害鳥獣捕獲先発隊駆除実績）					
年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
イノシシ(頭)	2	8	0	4	0
ニホンジカ(頭)	31	13	15	30	11
サル(頭)	0	0	0	4	1
ハクビシン(頭)	0	0	0	0	0
カラス(羽)	23	11	11	0	3
ドバト(羽)	80	0	0	0	2
ヒヨドリ(羽)	0	0	0	0	0

① イノシシ
長泉町においてイノシシの目撃情報等が増えており、被害の拡大が懸念されることから、年間捕獲目標値を過去5年間の捕獲実績の平均値（2.8頭）の約2倍の頭数とする。

② ニホンジカ
富士地域のニホンジカの個体数は増加傾向にあり、県でも捕獲数を強化していることから、過去5年の捕獲実績の最大値である31頭を年間捕獲目標とする。

③ サル
被害は拡大傾向にあるものの、過去に捕獲実績は少ない。年間捕獲目標値を5頭とする。

④ ハクビシン
被害はあるものの、過去に捕獲実績はない。今後、ハクビシンの個体数

の増加や被害の拡大も考えられ、年間捕獲目標値は2頭とする。

⑤カラス

捕獲実績は年度により変動している。過去5年間の捕獲実績の平均値9.6羽及び近年の目撃情報から、年間捕獲目標値を20羽とする。

⑥ドバト

捕獲実績は年度により大きく変動している。平成21年度は捕獲実績80羽あったものの、その後の捕獲実績はほとんどない。近年の目撃情報から、年間捕獲目標値を30羽とする。

⑦ヒヨドリ

捕獲実績は近年ないが、被害の発生状況に応じて必要な捕獲を実施することとし、当面、年間捕獲目標値は設定しない。

対象鳥獣	捕獲計画数等		
	27年度	28年度	29年度
イノシン(頭)	6	6	6
ニホンジカ(頭)	31	31	31
サル(頭)	5	5	5
ハクビシン(頭)	2	2	2
カラス(羽)	20	20	20
ドバト(羽)	30	30	30
ヒヨドリ(羽)	—	—	—

捕獲等の取組内容
<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲手段は銃器とわな。 ・捕獲の実施時期は、被害の申し出に基づき、適宜実施する。 ・捕獲予定場所は、長泉町東野（国有林を含む山間部）全域、元長窪（山間部）全域、上長窪（山間部）全域、下長窪（山間部全域）、南一色（山間部）全域。

※その他に参考資料として、平成26年度長泉町有害鳥獣捕獲業務委託契約書の写しを添付。

(4) 許可権限委譲事項

対象地域	対象鳥獣
長泉町全域	権限委譲済

4. 防護柵の設置その他の対象鳥獣の捕獲以外の被害防止施策に関する事項

(1) 侵入防止柵の整備計画

対象鳥獣	整備内容		
	27年度	28年度	29年度
イノシシ ニホンジカ サル ハクビシン カラス、ドバト ヒヨドリ	防護柵等の設置に対し補助。	防護柵等の設置に対し補助。	防護柵等の設置に対し補助。
参考	*補助率1/2以内 *上限 認定農業者： 30万円 その他の農業者： 10万円	*補助率1/2以内 *上限 認定農業者： 30万円 その他の農業者： 10万円	*補助率1/2以内 *上限 認定農業者： 30万円 その他の農業者： 10万円

※ 防護柵等の設置については、個別の農業者からの申請に基づき補助金の交付を行っているが、今後、被害状況に応じて、国や県の事業の活用も検討していく。

(2) その他被害防止に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
27年度	イノシシ ニホンジカ サル ハクビシン カラス ドバト ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥獣生息状況調査を実施する。 ・ 広報誌、パンフレット等により、ほ場の作物残さや未収穫農作物を放置せず処理するなどの啓発を行う。 ・ 定期的な追い払いや、忌避剤等を利用した侵入防止策などを実施する。 ・ 野生鳥獣の生態、被害対策などの知識や技術を学ぶことができる学習会等を開催し、地域住民や農林業者が自ら守る体制を構築する。 ・ 侵入防護柵等設置補助制度の補助率を増額改訂する。
28年度	イノシシ ニホンジカ サル ハクビシン カラス ドバト ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲技術や被害防除の研修 ・ 平成27年度に把握した被害の実態から、生息状況を把握する。 ・ 野生鳥獣の生態、被害対策などの知識や技術を学ぶことができる学習会等を開催し、鳥獣が住み着かない環境を整備する。 ・ 鳥獣を農地に近づきにくくさせる緩衝帯を整備する。
29年度	イノシシ ニホンジカ サル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度までの取組結果を踏まえ、引き続き、被害の実態・鳥獣の生息場所を把握する。 ・ 野生鳥獣の生態、被害対策などの知識や技術を

	ハクビシン カラス ドバト ヒヨドリ	学ぶことができる学習会等を開催し、地域住民や農林業者が自ら守る体制を構築する。 ・被害防止対策協議会における被害防止対策の検討と成果の検証。 ・捕獲の担い手の育成に取り組む。
--	-----------------------------	---

5. 対象鳥獣による住民の生命、身体又は財産に係る被害が生じ、又は生じるおそれがある場合の対処に関する事項

(1) 関係機関等の役割

関係機関等の名称	役割

(2) 緊急時の連絡体制

--

6. 被害防止施策の実施体制に関する事項

(1) 協議会に関する事項

協議会の名称	長泉町鳥獣被害防止対策協議会
南駿農業協同組合東部営農経済センター	有害鳥獣関連情報の提供と被害対策への協力
駿東猟友会長泉支部	有害鳥獣関連情報の提供と有害鳥獣捕獲の実施
長泉町農業委員会	有害鳥獣関連情報の提供と被害対策への協力
鳥獣保護員（長泉町担当）	鳥獣被害調査・捕獲に関する助言・傷病鳥獣の保護
東部農林事務所地域振興課	鳥獣被害防止に関する助言・指導・情報提供
東部農林事務所森林整備課	鳥獣被害防止・捕獲に関する助言・指導・情報提供
長泉町役場産業振興課	協議会の運営・提言

(2) 関係機関に関する事項

関係機関の名称	役割
静岡県農林技術研究所（森林・林業研究センター）	有害鳥獣被害防止に関する助言及び指導

(3) 鳥獣被害対策実施隊に関する事項

当面、設置の予定なし。

(4) その他被害防止施策の実施体制に関する事項

銃器を使用して有害鳥獣を捕獲するにあたっては、狩猟に関する法令等の遵守と安全確認を徹底することとし、事故防止に努めるものとする。

7. 捕獲等をした対象鳥獣の処理に関する事項

捕獲した有害鳥獣は、捕獲後速やかに埋設処分を行うこととする。
また、捕獲鳥獣の地域資源化について、町内外の各種団体と検討していく。

8. その他被害防止施策の実施に関し必要な事項

東部地域有害鳥獣被害対策連絡会と連携し、被害防止対策に関する情報の提供や、講演会、研修会などを開催する。また、地域ぐるみで鳥獣被害対策の勉強会を開催する。